

ダムは外



清流守ろう



福は内

ダムを追い出し、清流守る！ 節分集会&パレードin人吉



2025 **2.2** 日 13:30- 集会
14:30- 市内パレード

球磨川豪雨災害被災者と流域住民の声を無視したまま、国と県が強行している川辺川ダム計画。でもちょっと待って。わたしたちは、美しく豊かな球磨川・川辺川とともにその恵みに感謝し、安心して暮らし続けたいだけ。その願いは、流水型ダムでは叶えられません。ふるさとの宝・清流を守り、未来へと受け継ぐために。いっしょに歩きましょう。



参加無料

どなたでもご参加いただけます。

パレード
シンボルカラーは

水色

水色や青のものを身に付けて参加してね！のぼり・プラカードも歓迎！



日時 2025年 **2月2日(日)** 13:30より

※小雨決行、荒天の場合は当日判断

集合場所 人吉市東西コミュニティセンター 2階

熊本県人吉市城本町1088 TEL0966-28-3230

プログラム

13:30- リレートークと豆まき

- 川辺川ダムがあっても水害は防げない！ 一被災者のお話
 - ダムができたら鮎は消え、球磨川はドブ川に！ 一川漁師のお話
 - 生まれ育った川のそばで子育てを続けたい！ 一子育て世代のお話 ほか予定
- [豆まき] 豆(カラーボール)を投げて鬼(ダム)を追い出そう！

14:30- パレード(40分(約3km)程度)

[コース] 東西コミセン～九日町～水の手橋～城内

主催 「ダムを追い出し、清流守る!節分集会」実行委員会

お問合せ

TEL:090-5299-6326 林(ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会)

TEL:080-3999-9928 tsuchi_tk@yahoo.co.jp 土森(子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会)

TEL:090-9579-7660 原(川辺川を守りたい女性たちの会)

集会 リレートーク

さまざまな方からのメッセージを5分間でつなぎます。

豆まきもあるよ!

熊本市・八代市から 臨時バスあり

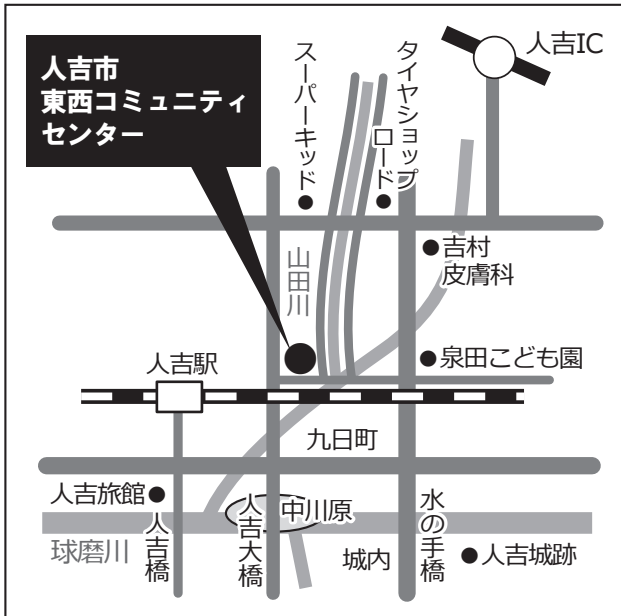
<往復料金>※要予約
熊本2,000円 八代500円
大学生以下無料
申込みは土森まで



会場へのアクセス

人吉市東西コミュニティセンター

熊本県人吉市城本町1088 TEL: 0966-28-3230
人吉インターより車で約5分



熊本・八代市内より直行バスを運行!



熊本市と八代市から会場まで臨時直行バスを運行します。1月29日(水)までにお申込み下さい。

●料金(お一人様往復):

熊本市内 2,000円(大学生以下は無料)

【行き】10:00城彩苑 ~ 10:30くわみず病院入口(健軍神社参道沿い) ~ 人吉市

【帰り】人吉市 ~ 17:30くわみず病院入口(健軍神社参道沿い) ~ 18:00城彩苑(到着時間は早まる場合があります)

八代市内 500円

●お弁当を必ずご持参下さい。

●お申し込み

土森 TEL: 080-3999-9928

FAX:0968-72-5604

Email: tsuchi_tk@yahoo.co.jp

熊本市内からの場合
大学生以下の方のバス代は
無料

協力団体

(2024年1月29日現在)

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会
ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会
川辺川を守りたい女性たちの会
清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会
川辺川・球磨川を守る漁民有志の会
美しい球磨川を守る市民の会
下球磨・葦北川漁師組合
瀬戸石ダムを撤去する会
坂本町被災者・支援者の会
川辺川利水訴訟原告団
NPO法人くまもと未来ネット

水と緑ネット
熊本の環境を考える会
産廃施設建設を考える会
エコネットみなまた
くまもと障害者労働センター
五木ぴーあーるし隊ダム反対隊
清流残したい五木の会
坂本町災害支援チームドラゴントレイル
球磨川水害犠牲者・支援の会
天草・路木ダムの再検証を求める全国連絡会
自由・平和・民主のための広範な国民連合・熊本

お誘い合わせの上
どうぞご参加ください



誤解していませんか? 球磨川豪雨災害と川辺川ダム

もしも川辺川ダムがあれば
50名の犠牲者の命は救えた!?

環境アセスをやったから
川辺川・球磨川の清流は守れる!?

何が原因で、どのような状況で50名の方の命が奪われたのか、専門家が丁寧に調査した結果、「川辺川ダムがあれば命を落とさずに済んだかもしれない」のは数名。ほとんどの方は、支流からの氾濫により尊い命を奪われました。しかし、国はずさんな検証を行ったのみで、ダムの治水効果を過大に主張し続けています。

環境アセスとは、事業者(国交省)自身が「ダムによる環境影響がないことをあたかも科学的に示し、住民を納得させる」ためのもの。例え深刻な影響が予想されても軽視され、事業は進められます。流水型ダムだと環境影響が少ないという科学的データは無く、各地に完成した流水型ダムでは深刻な環境悪化が進んでいます。

ポイント 川辺川ダムがあっても
ほとんどの犠牲者の命は
救えなかった。



ポイント 環境アセスは「ダムありき」。
もし流水型ダムができれば
「清流」も尺鮎も消える。

